

研修会報告

平成 28 年 11 月 23 日

文責：生理検査部門 三木 俊

研修会テーマ「肝線維化を診る～SWE の有用性」

開催日時 平成 28 年 11 月 23 日（水・祝日）11：50 ～15：30

会場 みやぎ県南中核病院 2階 講堂

司会：東北大学病院生理検査センター 三木 俊 先生

「超音波診断装置紹介」GE ヘルスケア・ジャパン

座長 みやぎ県南中核病院 検査診療部検査科 大橋 泰弘

「肝線維化を診る ～SWE の有用性～」

岩手医科大学附属病院 消化器内科肝臓分野 講師 黒田 英克

「SWE の実際」

岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 三上 有里子

症例検討会 演者

みやぎ県南中核病院 検査診療部検査部 木村 義信

仙台市立病院 臨床検査科 佐藤 貴光

仙台厚生病院 臨床検査センター病理診断・臨床検査科 石田 啓介

16:00 終了

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 36 名（会員講師 3 名含む）、講師（非会員）2 名、非会員 3 名 計 41 名

内容

今回の研修会は「超音波装置を用いたびまん性肝疾患における肝線維化の程度を高精度に診断する技術 Shear Wave Elastography (SWE)」にしぼった内容で今後のルーチンに活かせる内容だった。黒田 英克先生の講演では、剪断波が伝播する速度から組織の硬さを評価する SWE の基礎から臨床的有用性を中心にご講演頂いた。多くの症例を交えた内容で今後の肝線維化の定量評価として大変勉強になった。三上 有里子先生の講演では、SWE のライブにて正しい検査の仕方や検査データの読み方など、これから SWE を始める技師、検査の仕方がイマイチ分からない技師には必見のライブレクチャーだった。また、参加者からライブハンズオンもあり、大変勉強になった。

症例検討では 3 施設から症例提示があった。様々な症例のディスカッションからコメントーターの大橋 泰弘先生、三上 有里子先生、黒田 英克先生の的確で有用なコメントは大変勉強になったと思う。全体を通して、今回の「肝線維化を診る」は会場満席の 41 名の参加者があり、充実した内容だったと思う。今後も宮城県臨床検査技師会員のための楽しく学べる生理検査研修会を多く開催し、勉強する場を提供したい。